



●奥井海生堂の蔵園専用の蔵より、出荷しております。





大本山永平寺御用 大本山熊持寺御用

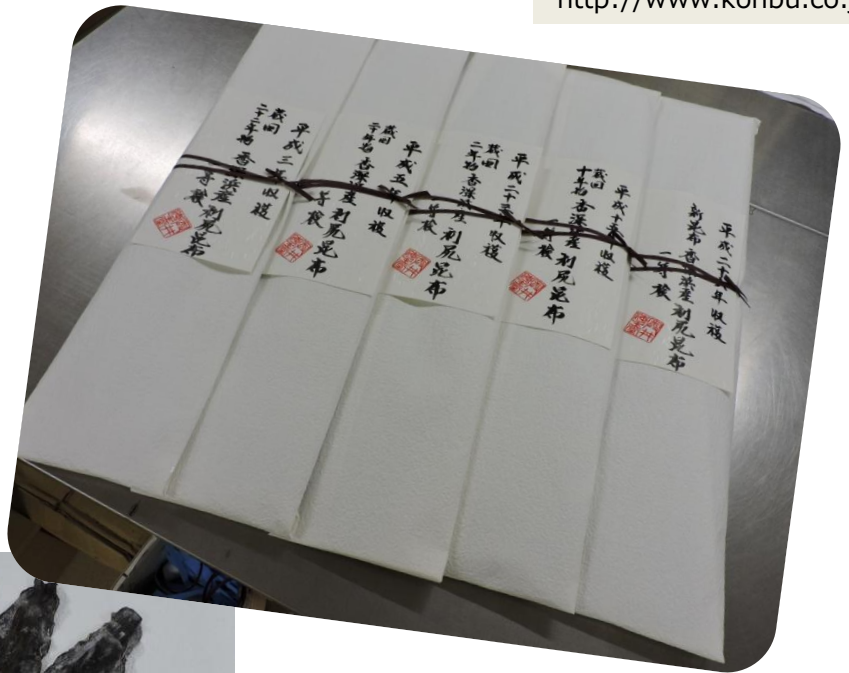
御昆布司

❀ 興井海生堂



蔵囲昆布収穫年度

1991 年 平成 3 年
1993 年 平成 5 年
2003 年 平成 15 年
2011 年 平成 23 年
2014 年 平成 26 年



1991 年 平成 3 年



1993 年 平成 5 年



2003 年 平成 15 年



2011 年 平成 23 年



2014 年 平成 26 年



京都吉兆本店 蔵囲昆布とシャンパン・サロンの会

使用昆布のご説明

今回使用する昆布は、古くから京料理で使用されてきた天然利尻昆布です。

宗谷岬中心に道北で広く収穫される利尻昆布は、大きく2種類に分かれます。

北海道本島で収穫される地方（じかた）昆布と利尻島、礼文島を中心に収穫される島物（しまもの）昆布です。島物利尻昆布が圧倒的に高級昆布として流通しておりますが、利尻島4か所、礼文島2か所の収穫浜の中で唯一別格浜と格付けされる礼文島、香深浜産の利尻昆布の1等検昆布を蔵で寝かせた「蔵囲昆布」のいろいろなビンテージ（収穫年）の昆布を揃えました。

平成3年（1991）収穫昆布

明治以降、統計を取り出して以来、最高価格を付けた年。収穫量も激減し、本来なら品質も悪い年でしたが、昆布は2年間で真昆布になりますが、2年目の昆布が成長する一番大切な時期の春先から6月頃の天候に恵まれ、品質も持ち直し過去最高と云われるぐらいの品質を誇る昆布になりました。昆布のグレート・ビンテージと呼ばれた年。

平成5年（1993）収穫昆布

平成3年で底を打った昆布の回復期の年。磯焼けと呼ばれる海藻が着床しにくい環境が少しずつ好転してきました。昆布も昔のような立派な昆布へと成長してきました。

平成15年（2003）収穫昆布

そこそこの収穫が望めるようになりましたが、温暖化の影響で1等検と呼ばれる高級昆布のバランスが崩れ、極端に少なくなってきた頃の年。

全収穫量の20%程の1等のバランスが数%に激減した年。高級昆布が貴重な昆布になってきました。同時に価格も跳ね上がってきました。

平成23年（2011）収穫昆布

理由がわかりませんが、昆布の収穫が殆ど無かった年。香深浜の1等検昆布も皆無で1結束（15キロ）に満たない量でした。1等検昆布の収穫は統計上0の年。弊社には特別にバラの状態で入庫しました。

平成26年（2014）収穫昆布

今年は北海道全道でも久しぶりに豊作の年になりました。理由はわかりません。昆布が密生した為、昆布に隠れた雲丹が採れなくなり、8月の初めまでは雲丹の収穫量が減少し、価格が跳ね上がりました。礼文島、利尻島でも久しぶりに大量の昆布が収穫された年。昆布は天日で乾燥し、耳と呼ばれるまわりの薄いところを切り落としたり根昆布を切ったりと、昆布の仕立て作業に随分時間がかかります。その為入札という販売手続きが遅れ、昨日の25日に今年初めての第1回入札会が開催されました。今日の会には今年の新昆布は間に合わず、その為、香深漁協に特別にお願いして、1等検昆布を先に送っていただきました。幸い昨日の香深漁協の入札会では全量の天然昆布を、弊社が競り落とす事が出来ました。先に吉兆さんへ送っていただいた昆布はかなり立派な昆布でした。今年の昆布期待しております。

昆布は2年生です。あまりにも今年収穫の昆布の繁もう状況が良く密生した為に、来年収穫予定の昆布の胞子の着床状況が悪く、来年度の昆布は激減する予定。昔は表作、裏作と順調な収穫状況が続いていました。

平成26年9月26日

株式会社奥井海生堂

奥井 隆